

第 122 回番組審議会議事録

(株) 中国コミュニケーションネットワーク

■ 開催日時 2024 年 12 月 12 日 (木) 午前 11 時

■ 開催場所 中国経済クラブ (中国新聞社 8 階)

■ 出席者

① 委員側

・ 出席委員 7 人

木谷 健 (比治山学園理事長)

牛来 千鶴 (ソアラサービス代表取締役社長)

中川 圭 (乳がん患者友の会きらら理事長)

中川 元慧 (浄土真宗本願寺派善正寺住職)

向井 良 (弁護士)

吉田 朋子 (和奏光夜実行委員会代表)

道面 雅量 (中国新聞社文化担当部長)

② 会社側 2 人

社長兼放送局長 小見山 文男

制作担当 渡邊 康美

■ 議題

- ・ 開会あいさつ
- ・ 番組試聴「GO!GO!Car にぼる公開生放送」
- ・ 委員の感想、意見
- ・ 訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告
- ・ 質疑応答、その他

◇ 番組「GO!GO!Car にぼる公開生放送」(2024 年 10 月 20 日放送)

「GO!GO!Car にぼる」は、広島県自動車整備振興会が主催するイベント。午前 10 時から 30 分開かれた「マイカー点検教室」の点検体験、元カーブ選手の安部友裕さんがゲスト出演した様子などを放送しました。

<番組に対する委員の意見・感想>

- ・ ゲスト出演の安部さん、マイカー点検について話した整備振興会の担当者の話は聞きやすかった。野外イベントなのに、音がクリアに聞こえるのがすごい。一方、国から許可された整備工場を示す看板の説明が色だけだったため想像しにくかった。より具体的な説明があればさらに良かった。
- ・ 試聴は 30 分の中継番組を 10 分程度に再編集しているためか、安部さんのキャラクターが前面に出すぎ、点検、整備の話の印象が薄かった。最近の自動車は性能が良くなり、故障もしにくい。ボンネットを開けることすらしなくなった

が、日々の点検の重要性を再認識するきっかけとなった。

- ・ ライブの放送なのに、音質が良かった。観客の声があまり入っていなかった。ラジオは車で聞く人が多いと思うので、整備の番組は親和性が高い。若者の車離れが取りざたされているが、そんな人たちに届けるべき番組だと感じた。
- ・ イベントの公開放送は地域との関りが出来て素晴らしい。出演者はラジオ放送を意識している様子で、言葉が聞き取りやすかった。番組内で話が出たマイカーハンドブックを整備振興会のホームページで探したが、見つけにくかった。FMちゅーピーのホームページにリンクを張るなどすれば、リスナーの誘因にもつながる。今後は、放送に連動した工夫を検討してほしい。
- ・ 冒頭、会場の説明があり、子どもたちが喜ぶ光景などが浮かんた。拍手の音で観客数がだいたい分かった。そうしたことが公開生放送の魅力だと思った。いろんな現場からの生放送が増えれば、コミュニティーFM放送の面白さが増すように考える。経費との兼ね合いがあるだろうが、積極的に展開してみてもどうだろう。

◇ 訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告

- ・ 訂正やリスナーから番組に関する苦情はありませんでした。
- ・ 国土交通省太田川事務所による「高瀬堰(たかせぜき)の放水」の緊急割込み放送が、11月1日(金)午後10時にありました。

以上